



2022年

みやま

第290号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/>



【左】三神牧場（オーナーと動物たち）

【右】農地（肥料を散布する様子）

作業療法に「農耕」が加わります

院長 平川 淳一

花を育てたり、家庭菜園などを趣味にしている人が増えました。また、食育などといわれ、自分たちで育てた野菜を食べることで、食物のありがたさを体感することも重要だと思います。何より土に触れることは、たいへん人間にとって自然で落ち着くように思います。15年くらい前までは、南館の辺りに少しだけ園芸用の畑があり、入院患者さんも土に触れる機会がありました。できなくなっていました。今回、幸運にも病院の坂を下りたすぐの農地で農耕を再開することができるようになりました。八王子の農協の許可もと、指導員の先生もきていただき、みんなで石を取り除きました。坂を下りて、トンネルとは逆に左に向かった突き当たり、三神牧場という酪農をしているところがあり、ここから肥料を調達し、土と混ぜて、今、熟成させているところです。三神牧場は、搾乳体験やバーベキューができる牧場で、今度みんなで行ってみたいと思っています。畑も少し遅いのですが、インゲン豆やミニトマト、サツマイモなどを植える予定です。猿の群れが出没しているのが心配ですが、いよいよスタートします。楽しみにしてください。

【表紙】 院長あいさつ 【P2】 病棟たより（東4病棟） 【P3】 地域生活支援科より
【P4】 薬剤科から 【P5】 平川病院における外来初診件数の推移
【P6】 4名の理学療法士が認定理学療法士試験に合格しました

東4病棟 ～寅さんプロジェクト～

東4病棟 師長 真島 智

東4病棟で今年度から新しく始めた治療プログラムの一つを紹介したいと思います。その名も「寅さんプロジェクト」・・・「男はつらいよ」の寅さん？と思い浮かべる方も多いかと思いますが。最初に言っておきますが、「男はつらいよ」の寅さんとは何の関係もありません。ただ、覚えやすいということで命名しただけです（笑）。

肝心の「寅さんプロジェクト」とは、慢性期病棟で長期間入院生活を続けている方々は様々な生活分野において支障をきたすことがあります。例えば「対人関係（患者同士・病棟スタッフ間）や「体調管理」「OT・ハビリについて」「私服管理」「洗濯」等々出てきます。どの程度できていて、どの程度できていないか。できない場合、どう対応しているのか。ひとそれぞれ抱えている問題点やスキルが違ってます。この「寅さんプロジェクト」を通して、①「困っている。むずかしい」といった事を自覚してもらおう。②自分だけで困っているわけではないと安心感を得られたり、僅かでも他者へ関心をもってもらうようになる。③手順通りに一緒にやることで、スキルを獲

得するということが大きな到達目標であります。そしてこのプロジェクトは患者様を5名程度の小グループで行うことも大きな特徴です。小グループにすることによってお互いの距離感も近くなり、それぞれの想いや意見が言い易くなります。先日も患者様同士で助言し合っていました。まだまだ始まったばかりなので、患者様もいささか緊張している中、我々職員は“場”の雰囲気づくりを意識して楽しい治療プログラムとしていきたいと思えます。



利用者主体の支援をめざして

地域生活支援室より

東5病棟 看護師 寺本 憲祐

私は長らく、病棟業務を行ってきましたが、現在は週3日訪問看護を行っています。精神疾患はご存知のとおり、完治する病気（例、骨折や肺炎など）とは異なり、症状と共存しながら生活することがもとめられます。同様の例えとして、糖尿病を挙げたいと思います。症状が悪化し、入院加療が必要な場合、本人の同意を得て、主治医の方針のもと医療チームで治療します。地域で暮らしている時は、栄養指導を受けながら自分で食事内容を考えなくては行けませんが、入院中はその方に合った食事が提供されます。薬も家では指示された用法用量に従い自分で飲まなくては行けませんが、入院中は配ってもらえます。そのため、患者さんは地域で生活している時より受け身となります。症状が安定したら、退院し地域で暮らすこととなりますが、その時には自分の疾患を理解し、症状の把握と生活習慣の改善、悪化時の対応など自分で行う必要があります。

精神疾患も同じで入院中は治療に集中するため、身の回りのことはスタッフが代行することも多々あります。しかし地域での暮らしでは、そうはいきません。何か問題（症状悪化・生活でのトラブル等）が起こった際に解決する力が必要となります。訪問看護利用者の中には、困難事はスタッフに解決してほしいと訴える方もいます。スタッフが解決

してしまえば、一時的に感謝もされ、物事がスムーズに進みますが、それでは利用者の能力の確認ができず、もっている能力の低下につながります。そこで、利用者とスタッフで利用者自身が行うこと、職員が支援することを決定するようにしています。

これまでは援助を周囲の医療スタッフが計画・立案し、実行することが多かったのですが、利用者自身の意見を反映できるような支援を目指し、現在WRAP※（元気回復行動プラン）の導入を検討しています。

（※WRAP：Wellness Recovery Action Plan）

WRAPは利用者もっている「生活の工夫」や「考え方のコツ」を生かして、自身を助けるプランです。WRAPを使うことは周囲の医療関係者も本人を、より理解することが出来、関わりにも深みを持たせることが出来ると思っています。すでにデイケアでは導入されていますので、今後連携していきたいと思っています。



10年ひと昔

薬剤科から

薬剤科 科長 大塚 晃弘

10年ひと昔と言いますが、個人的な感覚としては、時が経つのはあっという間のようで、振り返ると結構前の事のようにも感じられます。仕事柄、新規の後発医薬品（ジェネリック医薬品）が発売されると、10年前のことを思い出し、自身の歳を感じるものが良くあります。丁度、今年の6月に当院でもよく使用している睡眠薬の1種類が新たにジェネリック医薬品として市場に出ることになったため、今回のみやまの記事は医薬品が発売されるまでの流れについて触れたいと思います。

そもそも医薬品は特許の制度の上に成り立っています。新しく薬の成分を特許として申請した20年間は、開発したメーカー以外は作ることが出来ないと決まっています。

メーカーは、この20年の間に治験や製造法などの様々な試験を行い、おおよそ10年という期間と莫大な開発費をかけて発売しています（これを先発医薬品と言います）。そのため、ジェネリック医薬品が発売されるまで約10年がかかると言うことになります。高額な薬を使う患者の立場から考えると10年は長いし、開発費をかけて発売までたどり着いた医薬品メーカーとしては、10年はあっという間に感じるのでしょうか。

最近のジェネリック医薬品供給不足はいつまで続くのだろうかと不安になりますが、必要な薬を安定的に供給される日が早く来るためにも、先発医薬品の助けがしばらくの間は必要になりそうです。



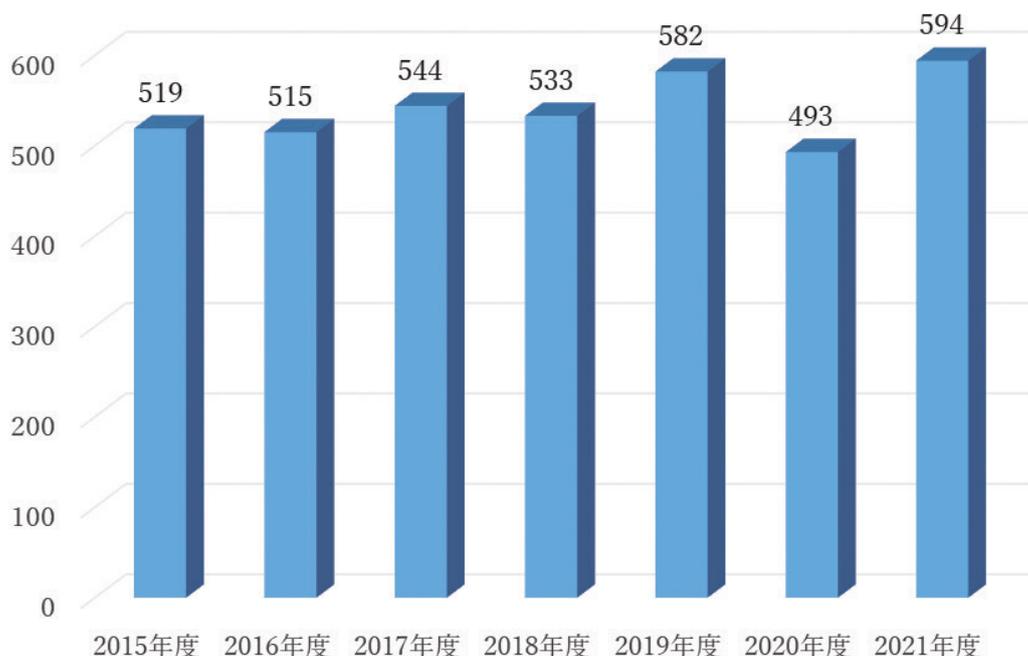
平川病院における外来初診件数の推移

医療の質向上促進委員会
心理療法科 公認心理士 内田 竜人

平川病院は様々なことに関するご相談を精神科外来にて受け付けております。

また、認知症、アルコール依存症、発達障害の専門外来を開設しております。

下のグラフは2015～2021年度の当院の初診件数を年度毎に示したものです。



過去をさかのぼりますと2000～2010年度の年間の初診件数は400件台でした。グラフをみますと、2019年度に至るまで右肩上がりに上昇しています。2020年度はコロナ禍によって外来を一時閉鎖していましたが、それでも493件を維持していました。翌年2021年度は594件まで増加し、感染対策に気を配りながらも過去最高の件数でした。

このように、ことに関する困り事や悩みを抱えておられる方が年々増加しており、特に認知症、発達障害に関するご相談が増えていることがうかがえます。当院ではそうしたニーズにこたえるべく、初診でお話をうかがう時間を増やしたり、相談件数が増えてもスムーズに対応できるよう職員一同で取り組んだ結果、初診の件数が増加したのではないかと考えられます。コロナ禍や戦争など、社会情勢と呼应してうつ病、インターネット依存やゲーム障害などのご相談のニーズがさらに増えていくことでしょう。平川病院では、今後もニーズにこたえられるよう、職員一同で診療体制を整えて参りたいと思います。

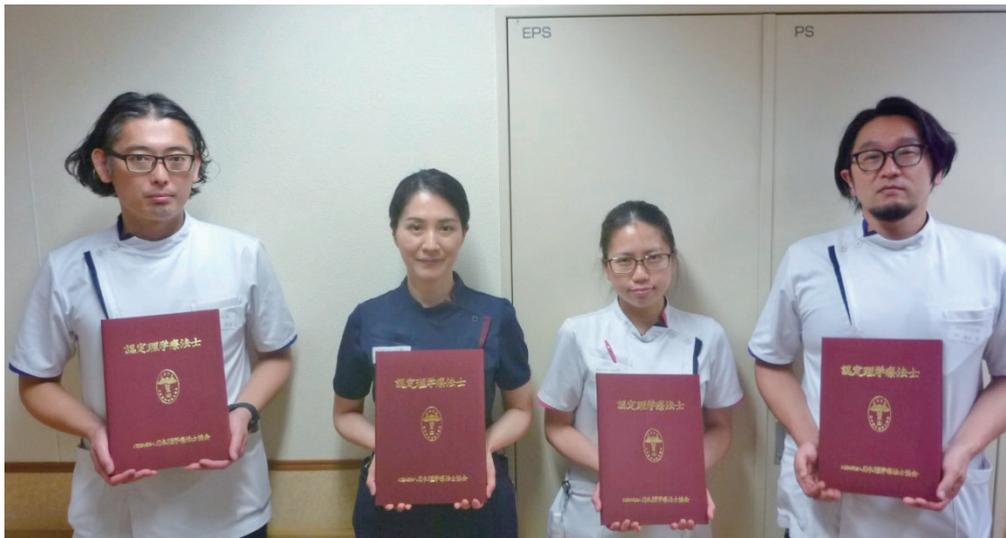
4名の理学療法士が認定理学療法士試験に合格しました

リハビリテーション科 理学療法士 古屋 真美

認定理学療法士は、7分野23領域からなり、自らの専門性を高め、高い専門的臨床技術の維持、社会、職能面における理学療法の専門性（技術・スキル）を高めていく事を目的にしています。合格するためには、10症例の報告書提出と、筆記試験による合格が必要となります。今回は私を含め当科から3名が運動器理学療法分野、1名が教育・管理理学療法分野の認定を取得しました。

日本理学療法士協会の会員数は129,396名、そのうち認定理学療法士の取得率は7%程度となっています。一方で当科の理学療法士は14名いますが、認定理学療法取得者は9名もおり、取得率64%と半数以上となりとても高値となっています。なかには2つの認定理学療法士を取得している方もいます。

この様に当院の先輩方は勉強熱心で、意欲が高いセラピストが多いです。私も先輩方の様に資格取得に満足するのではなく、日々自己研鑽に励み、専門性の高い良質なリハビリテーションを患者様に提供できるように取り組んでいきたいと考えます。



風間 広之
【教育・管理】

久保田 直美
【運動器】

古屋 真美
【運動器】筆者

奥出 聡
【運動器】

編集後記

七夕も終わり・・・子供の頃（天体オタクでもあった）、天体望遠鏡が欲しかったが、手に入れることが出来なかった。最近、良い曲だと思って聞いていたら歌詞が、天体のこと・・・。ペテルギウス ♪ は、オリオン座の1等星（赤色超巨星と呼ばれ）星としては、寿命を終える寸前の星（すでに爆発していると言う説もあり）。六等星 ♪ は肉眼で見える最も暗い星（1等星の1/100の明るさ）、東京で見える星は2等星までと言われている。東京の夜空の星は寂しいが、眺めてみようかと。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

**HIRAKAWA
HOSPITAL**

